

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																														
大宮ビューティー＆ブライダル専門学校		平成23年3月28日		岩崎 和友		〒 330-0854 (住所) 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目389-3 (電話) 048-658-0860																														
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																														
学校法人三幸学園		昭和60年3月8日		鳥居 敏		〒 113-0033 (住所) 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6151																														
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度																													
衛生	衛生専門課程		トータルビューティー科		平成24(2012)年度	-	平成27(2015)年度																													
学科の目的	「世の中の困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき、美容業界に従事しようとする者に必要な実践的かつ専門的な知識、技能を教授することによって、明日の美容業界を担う人材を養成することを目的とする。																																			
学科の特徴(主な教育内容、取得可能な資格 等)	「主体性・多様性・協働性を身に付け、様々な美容現場で活躍する人材」を目指し、62単位以上を取得することにより卒業を認める。入学後にメイクアップコース・エステティックコース・ネイルアートコース・トータルビューティーコースの4つから自分が身に付けたい技術を選べ、日本化粧品検定1～3級、AJESTHE 認定上級エステティシャン、JNECネイリスト技能検定試験1～3級等の資格を取得できる。(選択するコースにより取得可能な種類や級が異なる)																																			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技																												
2 年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	62 単位	90 単位	89 単位	5 単位	0 単位	13 単位																												
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)	中退率																															
196 人	218 人		0 人	0%	7 %																															
就職等の状況	■卒業者数(C) : 77 人 ■就職希望者数(D) : 63 人 ■就職者数(E) : 59 人 ■地元就職者数(F) : 11 人 ■就職率(E/D) : 94 % ■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) : 19 % ■卒業者に占める就職者の割合(E/C) : 77 % ■進学者数 : 4 人 ■その他 出産 1人、アルバイト 5人、別分野への就職・進学検討 1人、就職希望なし 7人 (令和 5 年度卒業者に関する令和 6 年 5 月 1 日時点の情報) ■主な就職先、業界等 (令和5年度卒業生) 化粧品メーカー、エステティックサロン、ネイルサロン等																																			
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																																			
当該学科のホームページURL	https://www.sanko.ac.jp/omiva-beauty/couse/total/																																			
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A：単位時間による算定) <table><tr><td>総授業時数</td><td>単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>単位時間</td></tr><tr><td>うち必修授業時数</td><td>単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>単位時間</td></tr><tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>単位時間</td></tr></table> (B：単位数による算定) <table><tr><td>総単位数</td><td>197 単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数</td><td>0 単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した演習の単位数</td><td>2 単位</td></tr><tr><td>うち必修単位数</td><td>9 単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数</td><td>0 単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の単位数</td><td>0 単位</td></tr><tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)</td><td>0 単位</td></tr></table>								総授業時数	単位時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	単位時間	うち必修授業時数	単位時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位時間	総単位数	197 単位	うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	0 単位	うち企業等と連携した演習の単位数	2 単位	うち必修単位数	9 単位	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	0 単位	うち企業等と連携した必修の演習の単位数	0 単位	(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	0 単位
総授業時数	単位時間																																			
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位時間																																			
うち企業等と連携した演習の授業時数	単位時間																																			
うち必修授業時数	単位時間																																			
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位時間																																			
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位時間																																			
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位時間																																			
総単位数	197 単位																																			
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	0 単位																																			
うち企業等と連携した演習の単位数	2 単位																																			
うち必修単位数	9 単位																																			
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	0 単位																																			
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	0 単位																																			
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	0 単位																																			
教員の属性(専任教員について記入)	<table><tr><td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者</td><td>(専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td><td>7 人</td></tr><tr><td>② 学士の学位を有する者等</td><td>(専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td><td>0 人</td></tr><tr><td>③ 高等学校教諭等経験者</td><td>(専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td><td>0 人</td></tr><tr><td>④ 修士の学位又は専門職学位</td><td>(専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td><td>0 人</td></tr><tr><td>⑤ その他</td><td>(専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td><td>0 人</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td>7 人</td></tr></table> 上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数 4 人								① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	(専修学校設置基準第41条第1項第1号)	7 人	② 学士の学位を有する者等	(専修学校設置基準第41条第1項第2号)	0 人	③ 高等学校教諭等経験者	(専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人	④ 修士の学位又は専門職学位	(専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0 人	⑤ その他	(専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0 人	計		7 人										
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	(専修学校設置基準第41条第1項第1号)	7 人																																		
② 学士の学位を有する者等	(専修学校設置基準第41条第1項第2号)	0 人																																		
③ 高等学校教諭等経験者	(専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人																																		
④ 修士の学位又は専門職学位	(専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0 人																																		
⑤ その他	(専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0 人																																		
計		7 人																																		

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他、教員としての資質・能力の育成に必要な研修に関する事項等

またより正確に業界における動向や求められる人材要件を把握するため、就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を深め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置づけている。

具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長および各校教務チームによって教育課程およびシラバスの改善素案が作成され、美容分野専門委員会(別紙組織図:各専門委員会)にて提案される。

提案に基づき、美容分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
高野 恒樹	NPO法人日本ネイリスト協会 理事 国際委員会委員長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	①
伊藤 葉子	一般社団法人日本エステティック業協会(AEA) 教育委員	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	②
岡西 美緒	株式会社TAT 東日本営業部	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
原口 和也	株式会社イストマネージメントオフィス 代表取締役	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
小倉 裕子	大宮ビューティー＆ブライダル専門学校 副校長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	－
伊藤 匡史	大宮ビューティー＆ブライダル専門学校 教務主任	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	－

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年9月22日 10:30～11:30

第2回 令和6年2月6日 10:30～11:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

委員会にいただいた以下の意見をいただき、対応をした。

・実際にスチューデントサロンを受けて、エステの接客に課題が残った(接客態度・身だしなみ・気遣い等)

生徒が知りたい内容をシラバスに入れていきたい。

→(対応)スチューデントサロンのフィードバックを学生、教員に行った。コミュニケーションの取り方やフローを明確にして、次年度に繋げる動きを入れていきたい。

・生徒が知りたいカリキュラム作りが必要

→(対応)2025年度入学生より、メイクコースに新しく専攻が加わった。自身の将来の夢に沿ったカリキュラムを生徒が選択でき、カリキュラムの内容も変更が入るため、より時代にあった授業を展開する予定。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

美容業界における流行や今までの実績・専門知識を有する企業選定だけでなく、本校の企業理念である「技能と心の調和」に理解・賛同いただき、学生への教務指導やアドバイスを熱意を持っていただくこと。

互恵関係、信頼をベースに学生のために協力いただけることを基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

1年次には学外実習や施設実習を行い、より実践的な仕事に触れることで学生の就職に対しての意欲向上を計っている。授業にも連携企業の講師を招き、就職時に幅が広がるよう基本的技術や知識を学ぶ。評価基準は授業内容や課題などの評価をもとに、成績認定を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連 携 企 業 等
着付けⅠ	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	着付に関する基本技術の習得や付随する基礎知識を蓄えることにより、業界で通用する人材となる。	株式会社K・Wプロジェクト
着付けⅡ	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	着付に関する基本技術の習得や付随する基礎知識を蓄えることにより、業界で通用する人材となる。	株式会社K・Wプロジェクト

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日の美容業界を担う人材を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、「研修等」に係る諸規程」に基づき、計画的に以下の研修を実施している。

・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修

・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上のための研修

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	今後の美容業界とトレンドについて	連携企業等：	株式会社リクルート
期間：	令和5年8月22日(火)	対象：	教職員10名
内容	コロナ禍を経て需要が変わりつつある美容業界の最新トレンドを伝授		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	伝え方について	連携企業等：	株式会社ウゴカス
期間：	令和6年3月28日(火)	対象：	教職員80名
内容	『伝え方が9割』の技術をもとに身近な問題を課題としたワーク		

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	MAC講話×MAC卒業生	連携企業等：	ELCジャパン合同会社
期間：	令和6年8月23日(金)	対象：	教職員10名
内容	現場が求めている力や、企業が学校に求めていること		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	現代における専門学校教育のあり方	連携企業等：	学校法人佛教教育学園
期間：	令和6年9月30日(月)	対象：	教職員120名
内容	学生が求めているもの、考え方の変化を伝授		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。
学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で作られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

スチューデントサロンを開催し、委員を招き、学生の施術を受けていただく。
「細かな声掛けや周りを見て行動することができると良い」などの確かなフィードバックをいただき、技術は上手に行っているが心を込めたおもてなしなどを意識すると社会に出てからも成長に繋がると意見を頂戴した。
また、入学式や体育祭などの学校行事にもご参加いただくことで学校理解にも努めてもらい、今後の学校運営に活用していく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和6年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
吉野 秀樹	株式会社La Blanche	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	関連企業
高橋 健二	株式会社エムスラッシュホールディングス	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	関連企業
江口 怜那	第12期 卒業生	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	卒業生
岡本 朋美	在校生 保護者	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	保護者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())
URL: <https://www.sanko.ac.jp/omiya-beauty/disclosure/>
公表時期: 令和6年8月16日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供を行うことを基本方針とし、以下の姿を目指す。

1. 学校の指導方針や課題への対応方法等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげること。
2. 入学希望者やその保護者に対し、進路選択に当たっての有用な情報を提供するとともに、一人ひとりの能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。
3. キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習・就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげること。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標および計画
(2)各学科等の教育	学科概要、カリキュラム、シラバス、客観的な指標の算出方法、卒業要
(3)教職員	教員数、組織、専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習実技への取り組み
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6)学生の生活支援	生活上の諸問題への対応
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金、就学支援
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他()

URL: <https://www.sanko.ac.jp/omiya-beauty/disclosure/>

公表時期: 令和6年5月31日

授業科目等の概要

(衛生専門課程 トータルビューティー科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			サロンマナーⅠ	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける。	1・前	30	2	○			○			○	
2	○			カラーコーディネートⅠ	色に関する知識、法則、技法を理解する。	1・前	30	2	○			○			○	
3	○			未来デザインプログラムⅠ	社会人としてあるべき人格を高め、自身および他者へのリーダーシップを培い、主体性を発揮する人材を育成する。	1・前	15	1	○			○			○	
4			○	デッサン・イラストレーション	観察力と洞察力を養い、芸術を理解する。	1・前	30	2	○			○			○	
5			○	皮膚学Ⅰ	皮膚の働きの仕組みを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ。	1・前	30	2	○			○			○	
6			○	生理学Ⅰ	人体の仕組み、構造や働きの基本を理解する。	1・前	30	2	○			○			○	
7			○	栄養学Ⅰ	人間の栄養素の必要量、食品成分、食習慣など、食事と健康を理解する。	1・前	15	1	○			○			○	
8			○	香粧品学Ⅰ	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点など、使用される主な原料を学ぶ。	1・前	15	1	○			○			○	
9			○	エステティック概論・衛生学・関係法規Ⅰ	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、自主基準を理解する。	1・前	15	1	○			○			○	
10			○	ベーシックエステⅠ	身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。	1・前	60	2		○		○			○	
11			○	ベーシックネイルⅠ	ネイルについて歴史などの背景から始まり各部名称や病気・消毒法などを理解し、基礎的なケアカラー技術を実践できるようになる。	1・前	60	2		○		○		○	○	

12			○	ベーシックメイクⅠ	スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し、現場を意識して実践できるようになる。	1・前	60	2		○		○			○	
13			○	就職対策Ⅰ	就職対策を通して、業界の動向を知るとともに、社会人としての一般常識などを身に付ける。	1・前	15	1	○			○		○		
14	○			カラーコーディネートⅡ	色に関する知識、法則、技法を理解する。	1・後	30	2	○			○			○	
15	○			未来デザインプログラムⅡ	社会人としてあるべき人格を高め、自身および他者へのリーダーシップを培い、主体性を発揮する人材を育成する。	1・後	15	1	○			○			○	
16			○	就職対策Ⅱ	就職対策を通して、業界の動向を知るとともに、社会人としての一般常識などを身につける。	1・後	15	1	○			○		○		
17	○			サロンマナーⅡ	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける。	1・後	15	1	○			○			○	
18			○	SNS・WEB・フォトスキル	美容業界の現状やニーズを把握し、SNS・WEB・フォトスキルを活用したマーケティング・集客を理解し実践できるようになる。	1・後	15	1		○		○		○		
19			○	皮膚学Ⅱ	皮膚の働きの仕組みを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ。	1・後	30	2	○			○			○	
20			○	生理学Ⅱ	人体の仕組み、構造や働きの基本を理解する。	1・後	30	2	○			○			○	
21			○	栄養学Ⅱ	人間の栄養素の必要量、食品成分、食習慣など、食事と健康を理解する。	1・後	15	1	○			○			○	
22			○	香粧品学Ⅱ	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点など、使用される主な原料を学ぶ。	1・後	15	1	○			○			○	
23			○	ベーシックネイルⅡ	ネイル技術の基本を学び、基礎に加えてJAN2級課題である爪の補修・補強を学ぶ。	1・後	30	1		○		○		○	○	
24			○	ベーシックエステⅡ	エステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったフェイシャル・ボディトリートメントを理解する。	1・後	30	1		○		○			○	
25			○	ビューティーカウンセリング	メイクの業界で求められる人材や接客においての言葉使いを学び、化粧品のブランドについての知識を研究し実践力を身につける。	1・後	30	2	○			○			○	

26			○	検定メイクⅠ	メイクの基礎知識や技術を学びメイク検定合格をする。	1・後	45	3	○			○		○	○	
27			○	ヘアアレンジⅠ	頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術を取得する。	1・後	60	2		○		○			○	
28			○	パーソナルメイク	基礎技術をテーマに合わせる(応用)メイクアップが出来るようになる。	1・後	45	1		○		○			○	
29			○	ベーシックメイクⅡ	前期に学んだ基礎を生かしテーマに合わせたメイク技術を習得しメイク検定合格を目指す。	1・後	30	1		○		○			○	
30			○	エステティックカウンセリングⅠ	一人ひとりの心や体の悩みの相談に応じて人間的な理解を深めて、悩みを解決へと導く心理学に基づく療法を理解する。	1・後	15	1	○			○			○	
31			○	エステティック概論・衛生学・関係法規Ⅱ	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準を理解する。	1・後	15	1	○			○			○	
32			○	プロフェイシャルⅠ	トラブル別に使用する化粧品・機器を理解し、その使用方法・注意事項・禁忌事項を学び肌の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身につける。	1・後	60	2		○		○			○	
33			○	プロボディⅠ	全身のマッサージを学び、採寸から分析しクライアントに合わせたマッサージを提供する。注意事項・禁忌事項を学び身体の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身につける。	1・後	60	2		○		○			○	
34			○	アロマセラピーⅠ	アロマセラピーの基礎知識、トリートメント法や嗅覚のメカニズムや脳の構造から香りの作用、健康学を学ぶ。	1・後	30	2	○			○			○	
35			○	アロマセラピーⅠ-G	アロマセラピーの基礎知識、精油のプロフィール、トリートメント法、嗅覚のメカニズムや脳の構造から香りの作用、健康学、アロマセラピーに関わる法律・資格制度を学ぶ。	1・後	15	1	○			○			○	
36			○	スカルプチュア	JNEC1級課題となるスカルプチュア・イクステンションの基礎を学び、知識とともに技術向上を目指し、アクリリックの特性を理解して施術が出来る。	1・後	45	1		○		○		○		
37			○	ネイルケア&ネイルアートⅠ-F	JNEC2級検定へ向けて、ニッパーのハンドリングやファイリング技術の強化と共に、様々なネイルアート(フラット)を描くことが出来る。	1・後	45	2		○		○			○	
38			○	検定対策Ⅰ	JNEC3級検定を取得し、更なる上の級やJNAジェル検定初級の取得を目指し、ネイリストとしての基礎の完全にマスターし、実践できる。	1・後	45	3	○			○		○	○	
39			○	ジェルネイルⅠ	ジェルの基礎を学び知識とともに技術向上を目指し、特性を理解して説明して施術が出来る。	1・後	45	1		○		○		○		

40			○	コンテストⅠ	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる。	1・後	15	1	○			○		○		
41			○	フェイシャル&ボディⅠ	エステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントを理解する。	1・後	45	1		○		○			○	
42			○	ネイルアートⅠ	JNEC3級のアートに加えて、更に上級検定やサロンで通用するネイルアートの技法を学び習得し、アートでの色使いや筆の使い方を習得する。	1・後	30	1		○		○		○	○	
43			○	ネイル演習	JNEC3級の取得をして、更に上級のJEC2級検定へ向けて付け爪などの技術を習得し、より深くネイルケアの大切さを理解する。	1・後	30	1		○		○		○	○	
44			○	パーソナルヘア&メイクⅠ	頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術を取得する。	1・後	30	1		○		○			○	
45			○	検定メイクⅡ	前期に学んだ基礎を生かしテーマに合わせたメイク技術を習得しメイク検定合格を目指す。	1・後	30	2	○			○			○	
46			○	スマホフォト技術	スマートフォンを使って作品撮りや自撮りのテクニックを身に付ける。	1・後	15	1		○		○			○	
47			○	自己プロデュース	自分自身のセールスポイントを理解し、人に伝えられるようになる。	1・後	15	1		○		○			○	
48			○	パーソナルスタイル	顔のパーツを最も美しく引き立てるメイク・理論を習得する。	1・後	15	1	○			○			○	
49			○	ビューティーフード	美容と健康に効果的な食の伝統と知識・食事法を理解する。	1・後	15	1	○			○			○	
50			○	サロンワークⅠ-F	実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する。	1・後	45	1				○	○		○	○
51		○		サロンワークⅡ-F	実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する。	2・前	45	1				○	○		○	○
52		○		サロンワークⅢ-F	実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する。	2・後	45	1				○	○		○	○
53			○	施設実習	トータルビューティー科として現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。	2・前	80	2				○		○	○	

54			○ 就職対策Ⅲ	卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。また、人間力が構築されて、社会人として自信をもって送り出せる人材を育成させる。	2・前	15	1	○			○		○		
55			○ 就職対策Ⅳ	卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。また、人間力が構築されて、社会人として自信をもって送り出せる人材を育成させる。	2・後	15	1	○			○		○		
56			○ 着付けⅠ	着付に関する知識・技術を身につける。	2・前	30	1		○		○			○	○
57			○ 着付けⅡ	着付に関する知識・技術を身につける。	2・後	30	1		○		○			○	○
58			○ ヘアアレンジⅡ	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。	2・前	45	1		○		○			○	
59			○ ヘアアレンジⅢ	学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。	2・後	45	1		○		○			○	
60			○ ビューティー カウンセラー メイクⅠ	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する。スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する。	2・前	60	4	○			○			○	
61			○ ビューティー カウンセラー メイクⅡ	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する。スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する。	2・後	60	4	○			○			○	
62			○ ブライダル メイクⅠ	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。	2・前	45	2		○		○			○	
63			○ ブライダル メイクⅡ	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。現場を意識した技術を出来るようになる。	2・後	45	2		○		○			○	
64			○ 特殊メイクⅠ	ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする。	2・前	45	2		○		○			○	
65			○ 特殊メイクⅡ	ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする。	2・後	45	2		○		○			○	
66			○ アーティスト メイクⅠ	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする。	2・前	45	2		○		○			○	
67			○ アーティスト メイクⅡ	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする。	2・後	45	2		○		○			○	

68			○	フォト& ファッション I	【フォト】写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所の注意点等を理解し、実践力を身につける。 【ファッション】ファッションとメイクについての関連性・傾向等知識を深める。	2・ 前	15	1	○			○			○	
69			○	フォト& ファッション II	【フォト】写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所の注意点等を理解し、実践力を身につける。 【ファッション】ファッションとメイクについての関連性・傾向等知識を深める。	2・ 後	15	1	○			○			○	
70			○	サロンワーク I - D	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う。	2・ 前	60	2				○	○		○	○
71			○	サロンワーク II - D	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う。	2・ 後	60	2				○	○		○	○
72			○	サロンワーク I - E	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う。	2・ 前	60	2				○	○		○	○
73			○	サロンワーク II - E	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う。	2・ 後	60	2				○	○		○	○
74			○	エステティ ックカウンセ リングII	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。	2・ 前	30	2	○			○			○	
75			○	エステティ ックカウンセ リングIII	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。	2・ 後	30	2	○			○			○	
76			○	サロントリー トメントI	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。	2・ 前	45	2		○		○			○	
77			○	サロントリー トメントII	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。	2・ 後	45	2		○		○			○	
78			○	プロボディII	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得を目指す。	2・ 前	60	2		○		○			○	
79			○	プロボディIII	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得を目指す。	2・ 後	60	2		○		○			○	
80			○	プロフェイ シャルII - B	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。	2・ 前	90	4		○		○			○	
81			○	プロフェイ シャルIII - B	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得	2・ 後	90	4		○		○			○	

82			○	エステティック総論Ⅰ-B	エステティック知識総合（資格試験対応）・皮膚学・生理解剖学・栄養学・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ。	2・前	30	2	○			○			○	
83			○	エステティック総論Ⅱ-B	エステティック知識総合（資格試験対応）、現場で活躍できる実践力を身につける。	2・後	30	2	○			○				○
84			○	検定対策Ⅱ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる。	2・前	60	4	○			○		○	○	
85			○	検定対策Ⅲ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる。	2・後	60	4	○			○		○	○	
86			○	検定対策&スカルプチュアⅠ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで通用するスカルプチュア技術の習得する。	2・前	60	4	○			○		○	○	
87			○	検定対策&スカルプチュアⅡ	付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、ネイル検定Ⅰ級・ジェル検定上級まで取得と共にネイリストとしてサロンで通用する技術レベルを習得する。	2・後	60	4	○			○		○	○	
88			○	ジェルネイルⅡ	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる。	2・前	60	2		○		○		○	○	
89			○	ジェルネイルⅢ	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる。	2・後	60	2		○		○		○	○	
90			○	コンテストⅡ	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる。	2・前	30	1		○		○		○		
91			○	コンテストⅢ	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる。	2・後	30	1		○		○		○		
92			○	ネイルケアⅡ	トリートメント・フットやマシーン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、更なる技術向上を目指し実践する。	2・前	45	2		○		○		○	○	
93			○	ネイルケアⅢ	トリートメント・フットやマシーン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、更なる技術向上を目指し実践する。	2・後	45	2		○		○		○	○	
94			○	ネイルアートⅡ	ポリッシュなどのフラットアートから3Dアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する。	2・前	45	2		○		○		○	○	
95			○	ネイルアートⅢ	ポリッシュアートなどのフラットアートから3Dアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する。	2・後	45	2		○		○		○	○	

96		○	サロンワーク Ⅰ - G	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う力、現場力を身につける。	2・前	30	1			○	○		○	○	
97		○	サロンワーク Ⅱ - G	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う力、現場力を身につける。	2・後	30	1			○	○		○	○	
98		○	エステティック カウンセリングⅡ - G	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。	2・前	15	1	○			○		○		
99		○	エステティック カウンセリングⅢ - G	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。	2・後	15	1	○			○		○		
100		○	アロマテラ ピーⅡ - G	アロマテラピー検定対策、アロマテラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活への応用力をつける。	2・前	15	1	○			○		○	○	
101		○	アロマテラ ピーⅢ - G	アロマテラピー検定対策、アロマテラピーⅡで学んだ知識の総復習と生活への応用力をつける。	2・後	15	1	○			○		○	○	
102		○	フェイシャル &ボディⅡ	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。	2・前	60	3		○		○		○	○	
103		○	フェイシャル &ボディⅢ	フェイシャル&ボディⅡで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。	2・後	60	3		○		○		○	○	
104		○	ネイルケア& ネイルアートⅠ - G	基礎的なネイル技術から実線的な技術としてチップを使った付け爪を学び、JNEC2級検定取得を目指し、サロンで接客のできる技術を得る。	2・前	30	1		○		○		○	○	
105		○	ネイルケア& ネイルアートⅡ - G	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、JNEC2級検定取得を目指し、サロンで接客のできる技術を得る。	2・後	30	1		○		○		○	○	
106		○	検定対策& ジェルⅠ	JNEC2級・JNAジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る。	2・前	30	2	○			○		○	○	
107		○	検定対策& ジェルⅡ	JNEC2級・JNAジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る。	2・後	30	2	○			○		○	○	
108		○	パーソナルヘ ア&メイクⅡ	1年次に学んだ基礎技術を応用し、和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。	2・前	30	1		○		○			○	
109		○	パーソナルヘ ア&メイクⅢ	1年次に学んだ基礎技術を応用し、和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。	2・後	30	1		○		○			○	

110			○	トータルメイクⅠ	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う。	2・前	30	1		○		○			○	
111			○	トータルメイクⅡ	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う。	2・後	30	1		○		○			○	
112			○	ヨガ・ピラティスⅠ	根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する方法を知る。	2・前	30	1		○		○			○	
113			○	ヨガ・ピラティスⅡ	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を知る。	2・後	30	1		○		○			○	
114			○	デトックスⅠ	食事・科学物質・環境・ストレスなど体内に蓄積しやすい有害物質を理解し、解毒排出方法を知る。	2・前	15	1	○			○			○	
115			○	デトックスⅡ	食事・科学物質・環境・ストレスなど体内に蓄積しやすい有害物質を理解し、解毒排出方法を知る。	2・後	15	1	○			○			○	
116			○	ダイエット学Ⅰ	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を知る。	2・前	30	1		○		○			○	
117			○	ダイエット学Ⅱ	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を知る。	2・後	30	1		○		○			○	
118			○	インターンシップⅠ - Ⅰ	スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。	1・後	45	1			○		○	○		
119			○	インターンシップⅡ - Ⅰ	スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。	2・前	45	1			○		○	○		
120			○	インターンシップⅢ - Ⅰ	スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。	2・後	45	1			○		○	○		
合計					120 科目				197 単位（単位時間）							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業要件単位数は、31単位に当該学科の修業年限相当数を乗じた単位数以上とする。		1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 原則として教育課程に定められている順序で履修する。また「着付けⅠ・Ⅱ」については、該当科目を必修科目と設定している。		1 学期の授業期間	15 週

（留意事項）

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。